

## 岡山市入札外部審議委員会の概要

平成23年度第2回岡山市入札外部審議委員会を下記のとおり開催しましたので、その概要についてお知らせいたします。

### 記

#### 1 開催日

平成23年8月5日(金) 午後1時30分から午後3時00分

#### 2 開催場所

岡山市庁舎 5階入札室

#### 3 出席委員(敬称略 五十音順)

泉 照子,井上 信二,内田 通子,菊池 捷男,妹尾 直人

#### 4 事務局

##### (1)岡山市

松井統括審議監,三谷監理課長,岡本契約課長,宮安監理課課長補佐,竹田契約課工事契約係長,石原契約課契約管理係長,矢部監理課主任,皿井監理課主任

##### (2)水道局

岸本統括審議監,近藤管財課長,國富管財課課長補佐,御幡管財課契約係長,桜井管財課副主査,神崎管財課主任

#### 5 会議次第

##### (1)開会

##### (2)議題

###### 1 岡山市抽出案件について審議

工事 岡山市西部リサイクルプラザ整備・運営事業  
(設計,建設,運営及び維持管理業務)

###### 2 岡山市水道局抽出案件について審議

(1)工事 500mm 配水管更生工事(更生工の部)

(2)物品 US型ダクタイル鋳鉄管(LS方式)直管 1000mm×6000mm 外1件

###### 3 その他

## 6 会議概要

### (1) 岡山市西部リサイクルプラザ(以下、西部R P)整備・運営事業

本事業は、PFI事業等に準じて実施することが適切であるとし、高度技術提案型総合評価一般競争入札で事業者を決定しようとするものである。事業内容は、西部R Pの設計・建設業務、20年間の運營業務を行うもの。

このうち、運營業務委託契約において、契約保証金と違約金の取扱いに苦慮したため、今後の参考とするため、長期契約における契約保証金と違約金の考え方について、ご意見をいただきたいと考えている。

Q:契約保証金の減免について、本当に岡山市契約規則第32条第12号に該当するのか。

A:どのように整理して契約保証金に関する条項を適用すべきかということをいろいろ議論したが、この事業そのものは岡山市がお金を払うし、ごみの量はあまり変動するものではないということ、それからSPC(本事業の受注者となる特別目的会社)に出資する企業というのは日本を代表するプラントメーカーだということ、などを考慮し、減免を適用することとした。

Q:想定しているのはプラントメーカーと建設会社と産業廃棄物の処理業者なのか。

A:はい。少なくともプラントのメーカーは必ず出資しなければならないこととしている。

Q:(岡山市契約規則第32条)第1号「履行保証保険契約を締結したとき」とか、第7号「確実な担保が提供されたとき」とか、こういう字句のあるところを見ると、第12号についても「SPCの構成員が連帯保証すること」とか、具体的に書くとより分かりやすい。「相手方が契約を履行しないこととなるおそれがないと認められるとき」には、少し条文に合わない感じがする。しかし、他にふさわしい条文がないから仕方ない。

Q:このような大きな案件で、履行ボンド(契約保証)を引き受けてくれるところはあるのか。

A:何社か確認したが、これほどの金額と期間を引き受けるところはなさそうだ。この点が苦慮した原因である。

Q:入札参加資格等で、有力なプラント会社でなければ入札できないということを記載しているのか。

A:入札に参加するために必要な条件を提示している。プラント会社で、例えば施工規模が20t以上の処理能力を有するリサイクルプラザを作ったことがあるといった実績を求めている。

このような実績を求めること等により、参加可能な業者は大体分かるので、そういうことから日本で有数の企業が入札に参加するものと想定している。

Q:20年間の運営期間を設定することは初めてということだが、今後もこういう方式で発注する予定があるのか。

A:このような発注方法に合うような事業があれば、選択肢の一つとして選ぶことになると思う。この事業のように、必ず建設に運営委託が伴うような事業など、これに馴染むような事業があれば選択することになると思う。

Q:(岡山市契約規則第32条)第12号の該当が難しいのであれば、規定を追加する等、検討するべきではないか。判断に迷うようなあやふやな規定では、公平ではないと思う。「日本有数の企業だ

から」という考えは危ないと思う。感覚的なファジーなことではあまりよくない。やはり(規定を)整備していく必要があるだろう。

Q:収支計画とか損益計画とかはどこに記載しているのか。

A:要求水準にある。要求水準は膨大な量になる。

Q:委員の皆さんも関心があるところだ。後日でよいので、収支の資料をお願いする。実質的な市民の負担はこれだけというのが分かるようにして欲しい。

A:改めて資料を準備します。

Q:まず設計施工を入札して、その後運営を改めて入札する方式もあると思う。分けて発注してもよい気がするが、どこにメリットがあって、このような方法を採用したのか。

A:トータルで物事を考えていくというのが近年の流れだと考えております。安く作っても維持管理が高いついてはいけない、ということもある。

Q:これを決定したのはあくまで行政内部での検討の結果か。専門家がたくさんいると思うが、外部の委員に意見を聞くということは実際にやっていないのか。

A:コンサルタント業者に委託し、どのような方式が一番岡山市にとって有利か比較検討した結果、DBO方式(Design(設計) - Build(建設) - Operate(維持管理・運営))が望ましいのではないかとということになった。DBO方式を採用することになると、設計施工一体型、WTO案件、総合評価一般競争入札・高度技術提案型ということになっていく。総合評価一般競争入札の実施にあたっては、地方自治法施行令により学識経験者の意見を聞かなければならないこととなっている。

Q:そういった国の指針に沿って決定したということは分かった。一番安心できるやり方だと思う。それでは、継続審議として、次回審議会でもう一度諮ることとする。

## (2)「500mm 配水管更生工事(更生工の部)」

Q:配水管の更生工事はいろいろな工法があると思うが、この工事の工法について、もう少し分かりやすく説明をして欲しい。

A:接着剤を内面に塗った被覆材に空気を加え、空気圧で裏返ししながら管内に貼りつけていく方式である。接着剤は硬化すると、外の管にひびが入っても中の部分だけで十分耐えられる非常に強いものとなる。

Q:地震のことが話題になっている。私たち市民のライフラインは、まず水なので、道路に断層ができて水道管だけは残るくらい丈夫なものを、耐震性のあるものを作って欲しい。そこにはお金を使っていたきたい。

A:東日本の震災でも、耐震管を使った管はしっかり繋がっていた。耐震管の効果は、はっきり証明された。管路の耐震化については、今後もこの方向でしっかりやっていきます。

Q:水は重要なライフラインだ。コストも大事だが、それ以上に安心を重視してがんばっていただきたい。

Q:水道料金は上がらないようにしていただきたい。

A:できるだけ現行の料金で、しっかり耐震化を進めていきたいと思っている。

(3)「US型ダクタイル鋳鉄管(LS方式)直管 1000mm×6000mm 外1件」

Q:2社しか入札に参加していないが,入札参加が可能である会社というのは少ないのか。

A:このような大きい口径の水道管を製作ができる業者は,少ないのではないと思われる。WTOで発注したが,結果的に海外メーカーの参加はなかった。